

水戸教育事務所だより

令和4年2月7日
発行
第24号

家庭教育応援ナビ「すくすく育ていばらきっ子」の活用について

保護者が子育てや家庭教育について、より楽しく、わかりやすく学べるよう家庭教育支援ポータルサイト「家庭教育応援ナビ」をリニューアルしました。

新たに「子育てに役立つマンガ・動画・資料」などのコンテンツを加え、子育てに役立つ、充実した情報を保護者へ提供しています。

「家庭教育応援ナビ」バナー



「家庭教育応援ナビ」QRコード 「ツイッター」QRコード



春夏秋冬話「あきない話」コーナー

「鮮やかな場面」



中学2年生の私は、国語の授業で、太宰治の「走れメロス」に出会いました。昭和48年、今から約50年も前のことですが、私は、その授業の一場面を、今でも、かなり鮮やかに思い出すのです。

国語担当のY先生が、私たち生徒に、こんな質問を投げかけたのです。「この作品の文章中で、主題に迫る最も重要な二字熟語は何でしょうか。」と。

「友情」「信頼」「正義」「約束」……。もっともらしい答えが、次々に発表されましたが、Y先生は、首を縦に振りません。答えが出尽くしたところで、Y先生は、こうおっしゃいました。「答えは、『赤面』です。作品の最後の一文、『勇者は、ひどく赤面した。』の『赤面』です。」皆が、あっけにとられる中、Y先生は、話を続けます。『メロスは激怒した。』で始まり、『勇者は、ひどく赤面した。』で終わるこの作品は、メロスの人間としての成長を描いている。激怒することは、どんな生き物でもできるが、赤面すること、つまり、恥じらいの心をもつことは、人間でないとできない。人間性の獲得、人間としての成長が、この作品の最も重要な主題である。」と。

なるほどなあ、そんな読み方ができるのか。私は、本当に驚き、そして、納得しました。 私たちを真に人間たらしめてくれるもの、その一つが、読書という営みであることを、Y先生は、私たち中学生に教えてくださったような気がします。(by S・S)